



令和3年度 学校経営計画

大田区立開桜小学校
校長 森 伸一

開桜小学校は、127年の歴史をもつ大森第二小学校と、61年の歴史をもつ大森第六小学校が統合した歴史を持ち、今年度は開校20年目、節目の年である。「栄えある歴史 受け継いで」と校歌の歌詞にあるように、「継承と発展」をキーワードに、これまでの取組を児童の姿を通して見直すとともに、新たな取組にも挑戦し、学校改善に取り組んでいく。保護者・地域の学校教育に対する期待に応えられるよう、さらなる発展を目指し、新しい開桜小を創っていき1年とする。

おおた教育
ビジョン

基本的な方針 ○知・徳・体のバランスのとれた開桜の子の育成
○信頼される魅力ある学校づくり

本校の教育目標

○人の気持ちがわかり、行動できる子
◎進んで学び、自分のよさを発揮できる子
○規則正しい生活をし、進んで体をきたえる子

1 基本方針について

(1) 知・徳・体のバランスのとれた開桜の子の育成

未来社会を創造的に生きる子供の育成を目指し、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健康・体力の向上」に取り組み、知・徳・体のバランスのとれた開桜小の子供を育成する。

◇知…確かな学力の育成

- ・「わかる・できる」授業への改善に努めるとともに、学習習慣を身に付けさせ、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる。
- ・思考力、判断力、表現力を伸ばす授業を通して、主体的に学習に取り組む態度を育成する。

◇徳…豊かな心の育成・組織的な生活指導

- ・確かな児童理解をもとにして、個や集団に応じた意図的・計画的な指導を行う。
- ・一人一人のよさが認められ、安心して自分の力を伸ばしたり発揮したりできるようにする。
- ・情報の共有を重視するとともに、全教職員が同じ基準のもとに指導していく。

◇体…体力の向上、健康・安全教育の推進

- ・体育学習での運動量の確保に努めるとともに、運動の日常化を図り、児童の体力を向上させる。
- ・健康・安全に対する意識が向上する教育を充実させ、健康・安全に生活する力を培う。

(2) 信頼される魅力ある学校づくり

◇家庭・地域との連携

- ・保護者・地域との連携に努め、教育活動の発信情報を充実させ、開かれた学校にしていく。
- ・地域の協力による体験学習や交流活動を通して、地域に根ざした特色ある教育の実現に努める。

◇信頼される学校づくり

- ・教育公務員として研究と修養に努めさせるとともに、危機管理意識を育成し、サービスの遵守を徹底する。

(3) 一人一人を大切に教育

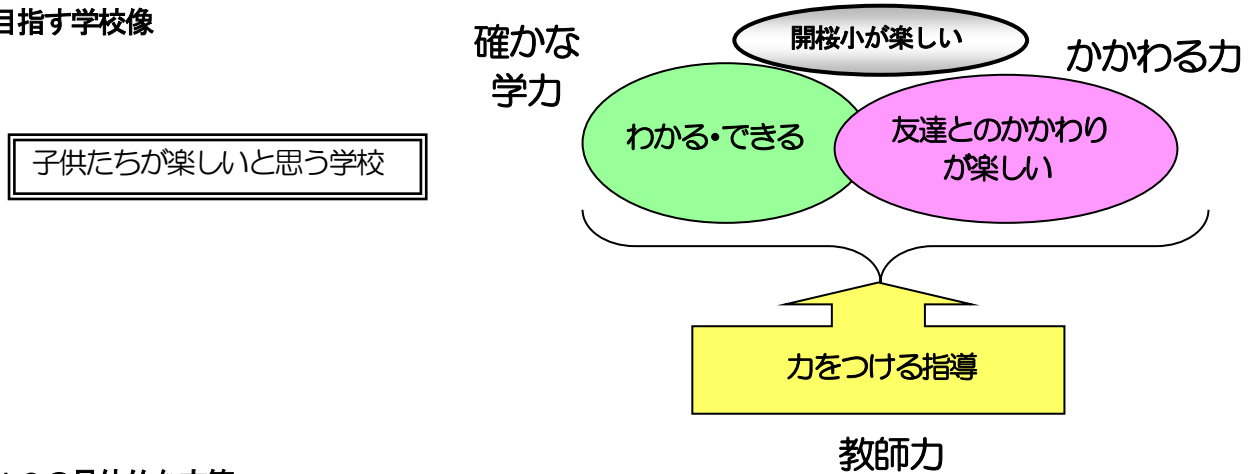
◇多様性の尊重といじめ・不登校の未然防止・早期対応・インクルーシブ教育の推進

- ・開桜小に学ぶ誰もが「学校が楽しい」と思えるように、児童一人一人をよく見取り、適切に向き合う。
- ・人権教育を重視し、共に生きる力を育成する。

◇特別支援教育の推進

- ・個の課題に応じた指導の充実を目指し、サポートルームの指導や特別支援校内委員会を充実させ、学習能力や集団適応能力等の伸長を図り、課題解決のための組織的な対応を行う。

2 目指す学校像



3 10の具体的な方策

① 学級・学年経営の充実

- 居心地の良い学級づくり⇒学級活動の創意・工夫
- 個に応じた適切かつ柔軟な指導⇒児童理解が土台（対話、全員面接、アンケート）
- 学習・生活スタンダードの徹底 ○学年で育てる（合同・交換授業） ○教室環境の美化

② 基礎学力の向上

- 練習・復習の時間確保⇒授業、放課後・土曜の補習、学力向上ウィーク、家庭学習
- 算数の習熟度別指導（学級数+ α ） ○漢字検定に向けた取組 ○情報活用能力

③ 読書活動の推進

- 週3日の朝読書と各学期の開桜小読書週間 ○読書記録の継続 ○推薦図書を紹介
- 読みかけの本を手元に ○学級文庫の充実 ○大森西図書館の活用
- 読書学習司書の活用や図書ボランティア「さくらんぼ」との連携

④ 言語活動の推進

- 全教科・領域で表現する活動の充実⇒授業研究で取り組む ○展覧会で作品説明
- 辞書を引く習慣 ○言語環境の充実（言葉遣い・掲示物）

⑤ かかわる力の育成

- コミュニケーション能力の育成 ○外国語活動の充実
- 特別の教科「道徳」⇒内容Bの重点化 ○あいさつ指導（開桜小あいさつ検定）
- 考え、話し合う学習
- 特別活動の充実⇒学校行事、児童集会、たてわり活動、
交流学習（児童同士、幼・保、高齢者、外国人留学生、地域人材等）

⑥ 体力、運動意欲の向上

- 体育授業の運動量アップ（場の工夫、用具の充実）、重点運動期間の設定
- コオーディネーショントレーニング ○外遊びへの働きかけ

⑦ 授業力の向上

- 新学習指導要領を踏まえた授業改善⇒学年会、授業観察、ペア研修、校内研修
- 校内研究…「わかる・できるを目指した授業」⇒自分の考えを表現できる力の育成
- 各学力調査結果をもとにした授業改善推進プランの作成
- 若手教員の育成（開桜未来塾） ○ICTの効果的活用（タブレット）

⑧ 保護者・地域との連携力アップ

- 発信情報の充実⇒学校ホームページ、緊急メールシステム等
- 保護者の来校を奨励（学習のお手伝い）
- 地域学習の充実（見学、ゲストティーチャー、資料活用）

⑨ 20周年、未来に向けて

- 校内環境整備 ○見通しをもった準備
- キャリアパスポートの活用

⑩ 教員の勤務時間の適正化

- 子供とかかわる時間、学ぶ・考える時間の創出
⇒会議の縮小、業務の効率化、意識改革

